

授業科目 高次神経障害作業療法学

【担当教員名】 岩崎テル子・能登真一	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【一般目標：G I O】
高次神経障害について、評価に基づいた機能障害別作業療法アプローチおよび認知リハビリテーションの実際を理解する。

- 【行動目標：S B O】
- 高次神経障害に対する作業療法的介入の原理を理解できる。
 - 高次神経障害に対する介入の効果について説明できる。
 - 個々の症状のメカニズムを理解できる。
 - 症状ごとのアプローチの観点について述べるができる。
 - 症状ごとのアプローチ実施のための準備をすることができる。
 - 認知リハビリテーションにおける作業療法の役割について述べるができる。
 - 対象者の高次神経障害の全体像を把握し、治療計画を立てることができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	高次神経障害に対する作業療法的介入の原理	1	講義
2	高次神経障害に対する治療・援助の実践過程と治療計画の立案	1, 2	講義
3	失語に対するアプローチ	3, 4, 5	講義・演習
4	失行に対するアプローチ 1	3, 4, 5	講義・演習
5	失行に対するアプローチ 2	3, 4, 5	講義・演習
6	半側空間無視に対するアプローチ 1	3, 4, 5	講義・演習、Quiz (1～5)
7	半側空間無視に対するアプローチ 2	3, 4, 5	講義・演習
8	失認に対するアプローチ 1	3, 4, 5	講義・演習
9	失認に対するアプローチ 2	3, 4, 5	講義・演習
10	記憶障害に対するアプローチ	3, 4, 5	講義・演習、Quiz (6～9)
11	注意障害に対するアプローチ	3, 4, 5	講義・演習
12	前頭葉症候群に対するアプローチ	3, 4, 5	講義・演習
13	認知リハビリテーションの実際	6	講義・演習、Quiz (10～12)
14	まとめ	7	講義・演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	作業療法学全書第8巻 「高次神経障害」	日本作業療法士協会監修	協同医学出版社	1999年[改訂第2版]・2600円
参考書	神経心理学入門 (臨床リハ別冊)	山鳥 重 江藤文夫・原寛美他編	医学書院 医歯薬出版	1985年・6400円 1995年・4500円
その他の資料	高次脳機能障害のリハビリテーション			

【評価方法】	【履修上の留意点】
出席・・・・・・5%	
Quiz・・・・・・30%	
期末試験・・・・65%	